

IP Meeting 2006

近藤邦昭
JANOG/まほろば工房

2006/12/5

Copyright (C) 2006 Atelier Mahoroba All Rights Reserved

¹ まほろば工房

Who am I?

- ISPネットワークの運用を中心に活動
 - DTI,IJなどでネットワークの設計や運用などの仕事を中心だった。
 - 主にBGPを利用してInter-Networkの現状などを見聞かしていました。
- ネットワーク運用関連ソフトウェア開発
 - BGPの動きを観察するためのソフトウェア開発
 - ネットワーク運用のためのネットワーク管理系ソフトウェアの開発
- ネットワークコンサルテーション
 - 最近では、ネットワーク設計、ネットワーク機器開発の機能設計に関連するコンサルテーションも行っています。
- 業界活動
 - JANOGの会長を務めています。
 - JPNICのIPアドレス検討委員を務めています。
 - その他、技術的な側面で運用者コミュニティで必要なグループの取り回しや調整などを行っています。
- 立ち位置として、ネットワーク運用という側面で、思考が働くことが多い。

2006/12/5

Copyright (C) 2006 Atelier Mahoroba All Rights Reserved

² まほろば工房

Five Questions 1/2

- Who is the stake-holder ? (誰がステークホルダーか?)
 - ネットワーク利用者
 - 自分を含め一般のネットワーク利用者がお金を出してインターネットサービスを購入しているのと同じく、インターネットで使われる技術もこれら一般の利用者の一部から考案され使われ成長してきており、インターネットは、これら一般の利用者の共有のものと考えます。
- Who own the resource ? (リソースは誰のものか?)
 - サービス提供事業者
 - ステークホルダーが一般の利用者であっても、利用者はネットワークサービスを購入して利用しています。このサービスを形成するのは、サービス提供事業者で、そのサービスに必要なリソースを準備し、提供するのもサービス提供事業者と考えます。
 - ただし、ここでの「リソース」は、ネットワーク機器やハードディスクなどの物理媒体を想像しています。
- Who provide the resource ? (誰がリソースを提供するか?)
 - 上記の理由により、サービス提供事業者

2006/12/5

Copyright (C) 2006 Atelier Mahoroba All Rights Reserved

3

まほろば工房

Five Questions 2/2

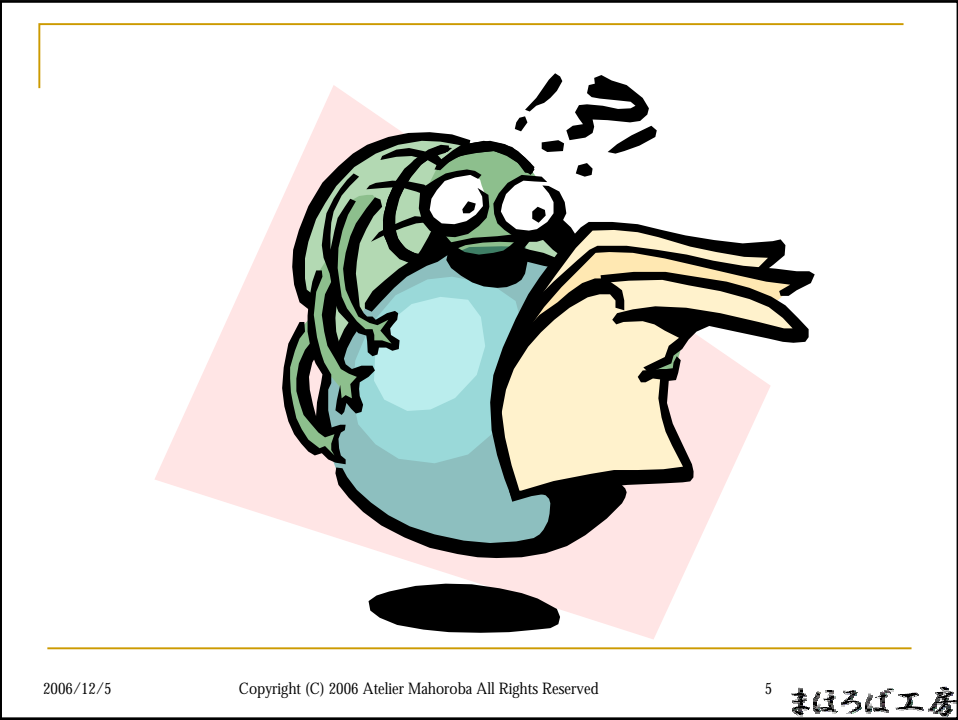
- How maintain the possibilities for new services ? (新サービスの可能性をどのように創造していくか?)
 - サービス事業者の想像力
 - 基本的には上の理由にほぼ同じです。
- How come up with globe ? (どのようにグローバルに展開するか?)
 - サービス事業者の相互努力
 - 一般の利用者の声や競争などによって、サービスの質や展開も変わってきます。ユーザのニーズなどを直接受け取っているサービス事業者が、ユーザのニーズに基づいて、必要なところに必要なサービスを展開し、その中にグローバルに展開する要素が含まれていると考えます。
 - 言ってしまうと、ユーザがグローバル化を望まなければ、無理してグローバル化をする必要はないと考えます。

2006/12/5

Copyright (C) 2006 Atelier Mahoroba All Rights Reserved

4

まほろば工房



2006/12/5

Copyright (C) 2006 Atelier Mahoroba All Rights Reserved

5 まほろば工房